

第71回日本小児神経学会近畿地方会 プログラム

【日 時】2022年10月22日（土）

* 近畿地方会 11時55分開始

* ランチョンセミナー 12時00分～12時50分

「小児てんかん診療に関する知見
～ペランパネルの使用経験を含む～」

島川 修一（大阪医科薬科大学 小児科）

共 催：エーザイ株式会社

* 総会 16時10分～16時20分

* 特別講演 16時20分～17時20分

「希少難治性疾患のゲノム解析」

日笠幸一郎（関西医科大学附属生命医学研究所 ゲノム解析部門）

* 共催教育講演 17時30分～18時20分

「脊髄性筋萎縮症の早期診断・早期治療の重要性と取り組み」

粟野 宏之（神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野）

共 催：ノバルティス ファーマ株式会社

お問い合わせ

日本小児神経学会近畿地方会事務局

〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町3番地

シュライククリエティブセンター201号

株式会社プラスエス・アカデミー内

Tel：072-275-5723 Fax：072-275-5724

E-mail：kjscn@plus-s-ac.com

<https://www.plus-s-ac.com/kjscn/>



プログラム

開会 11:55-12:00

会長 埜中 正博 (関西医科大学附属病院 脳神経外科)

ランチョンセミナー

座長 埜中 正博 (関西医科大学附属病院 脳神経外科)

12:00-12:50

「小児てんかん診療に関する知見
～ペランパネルの使用経験を含む～」

大阪医科薬科大学 小児科 島川 修一

共催：エーザイ株式会社

—12:50-13:00 休憩—

てんかん、変性疾患

座長 佐久間 悟 (大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学)

13:00-13:40

1. 思春期に不随意運動を認め、頭部MRI検査を契機に診断に至ったβプロペラ蛋白関連神経変性症の一例

○犬塚佳世¹、佐久間悟¹、矢崎耕太郎¹、堀田純子²、瀬戸俊之²、下野太郎³、濱崎考史¹

1. 大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学
2. 大阪公立大学大学院医学研究科 臨床遺伝学
3. 大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学

2. 摂食障害の経過中にWernicke脳症を発症した男児例

○老川静香、池谷紀衣子、京野由紀、徳元翔一、山口 宏、坊 亮輔、富岡和美、粟野宏之、永瀬裕朗

神戸大学大学院医学研究科 小児科

3. 聞き取り困難症 (LiD) が疑われる3症例の検討

○山下朋代^{1,2}、堀田純子^{1,2}、阪本浩一³、若宮英司⁴、瀬戸俊之^{1,2}

1. 大阪公立大学大学院医学研究科 臨床遺伝学
2. 大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学
3. 大阪公立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉病態学
4. 藍野大学医療保健学部 看護学科

4. Levetiracetam 投与により欠神発作の発作抑制効果が認められた 2 症例

○加藤竹雄、吉田真衣、寺崎英祐、森 篤志、石原万理子、井上賢治、野崎章仁、柴田 実
滋賀県立小児保健医療センター 小児科

炎症性疾患、感染症 座長 島川 修一 (大阪医科薬科大学 小児科)

13:40-14:20

5. サトラリズマブを導入した抗アクアポリン4抗体陽性視神経脊髄炎関連疾患の10歳女児

○上田拓耶、西山将広、本郷裕斗、石田悠介、丸山あずさ
兵庫県立こども病院 神経内科

6. 自己免疫性 glial fibrillary acidic protein (GFAP) アストロサイトパチーの小児例

○中島 健、島 盛雅、沖 啓祐、西本静香、木水友一、池田 妙、最上友紀子、柳原恵子、
鈴木保宏
大阪母子医療センター 小児神経科

7. 乳児期に重症筋無力症を発症し、ステロイド減量目的にタクロリムスを導入した2歳女児例

○矢崎耕太郎、佐久間悟、濱崎考史
大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学

8. チアノーゼ型先天性心疾患を有する乳児に発症した多発性脳膿瘍の1例

○島川修一¹、久保敦子¹、小田中豊¹、北原 光¹、蘆田温子¹、福井美保^{1,2}、尾崎智康¹、
岸 勘太¹、芦田 明¹

1. 大阪医科薬科大学病院 小児科
2. 大阪大谷大学 教育学部

—14:20-14:30 休憩—

腫瘍、脳神経外科

座長 國廣 誉世 (大阪市立総合医療センター 小児脳神経外科)

14:30-15:10

9. 脳梁離断術後に経口摂取不良が持続し胃瘻造設を要した2例

○石岡梨紗子¹、温井めぐみ^{1,2}、松原康平²、山田直紀²、井上岳司²、九鬼一郎²、馬場良子³、國廣誉世³、宇田武弘^{3,4}、岡崎 伸^{1,2}

1. 大阪市立総合医療センター 小児言語科
2. 大阪市立総合医療センター 小児脳神経内科
3. 大阪市立総合医療センター 小児脳神経外科
4. 大阪公立大学 脳神経外科

10. 大阪母子医療センターにおける迷走神経刺激療法(VNS)治療経験

○橋本洋章¹、西本溪佑¹、森口玄渡¹、竹本 理¹、谷 直樹²、貴島晴彦²、千葉泰良¹

1. 大阪母子医療センター 脳神経外科
2. 大阪大学医学部 脳神経外科

11. 頸髄硬膜内外腫瘍により脊髄症を呈した神経線維腫症1型の2例

○國廣誉世¹、馬場良子¹、吉崎 航²、西山太郎²、松原康平²、山田直紀²、石岡梨紗子²、温井めぐみ²、井上岳司²、九鬼一郎²、岡崎 伸²、坂本博昭¹

1. 大阪市立総合医療センター 小児脳神経外科
2. 大阪市立総合医療センター 小児脳神経内科

12. 動眼神経麻痺と眼痛にて発症した動眼神経 neuromuscular hamartoma の1例

○岩村晴香、埜中正博、浅井昭雄

関西科大学 脳神経外科

遺伝子異常、染色体異常

座長 原田 敦子 (高槻病院 小児脳神経外科/高槻病院 遺伝診療センター)

15:10-16:00

13. 脈絡叢過形成による水頭症を合併した9p tetrasomy/hexasomy モザイクの女児例

○高田 礼¹、戸澤雄紀¹、葛城卓弥¹、宮本洋輔¹、松岡太郎¹、田浦喜裕¹、瑞木 匡¹、長谷川龍志¹、森本昌史¹、千代延友裕²、大井雄太³、久岡聡史³、山中 巧³

1. 京都府立医科大学附属病院 小児科
2. 京都府立医科大学附属病院 遺伝子診療部
3. 京都府立医科大学附属病院 脳神経外科

14. 全ゲノムシーケンスにより診断に至ったCohen症候群の一例

○林 貴大、矢野直子、甲良謙伍、栢木大誓、西川絹子、佐々木彩恵子、真田由希子、横山淳史、滝田順子、吉田健司

15. 片側性のEpilepsy with myoclonic absenceを発症した2q13微細欠失症候群の一例

○小川勝洋^{1,2}、向井昌史^{1,2}、谷河純平^{1,2}、富永康仁^{1,2,3}、下野九理子^{1,2,3}、青天目信^{1,2}、大藺恵一¹

1. 大阪大学大学院医学系研究科 小児科学
2. 大阪大学医学部附属病院 てんかんセンター
3. 大阪大学大学院 連合小児発達学研究科

16. Developmental delay, impaired growth, dysmorphic facies, and axonal neuropathy と診断した新規MORC2変異例

○榊原崇文¹、竹田洋子¹、蜂須賀宗嗣¹、長谷川真理¹、鈴木寿人²、山田茉未子²、武内俊樹²、小崎健次郎²、瀬戸俊之³、野上恵嗣¹

1. 奈良県立医科大学 小児科
2. 慶応義塾大学医学部 臨床遺伝学センター
3. 大阪公立大学大学院医学研究科 臨床遺伝学

17. 遺伝学的検査を考慮した先天性小児神経外科疾患の診断・治療

○原田敦子^{1,2}、四本由郁²、金村米博^{3,4}、宇都宮英綱⁵、玉置知子²

1. 高槻病院 小児脳神経外科
2. 高槻病院 遺伝診療センター
3. 国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター先進医療研究開発部
4. 国立病院機構大阪医療センター 脳神経外科
5. 白十字病院 放射線科・高度画像センター

—16:00-16:10 休憩—

—16:10-16:20 総会—

特別講演

座長 埜中 正博 (関西医科大学附属病院 脳神経外科)

16:20-17:20

「希少難治性疾患のゲノム解析」

関西医科大学附属生命医学研究所 ゲノム解析部門

日笠幸一郎

—17:20-17:30 休憩—

共催教育講演

座長 田村 彰 (和歌山県立医科大学 小児科学教室)

17:30-18:20

「脊髄性筋萎縮症の早期診断・早期治療の重要性と取り組み」

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野 栗野 宏之

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

閉会 18:20-18:25

会長 埜中 正博 (関西医科大学附属病院 脳神経外科)